

事業者向け

児童発達支援/放課後等デイサービス自己評価表

2022oyumino

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	○			運動療育を行っているので、他事業所より広い スペースが確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をして いる場合は基準を満たしているか）	○			基準上は適切であり、イベントなど職員を多く 配置したい際には応援要請をしてお対応している
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の 配慮が適切になされているか		○		指定基準よりバリアフリー対象施設ではない。2階へ続く階 段には手すりがあるが、利用者への配慮を行っている。また 階段には滑らないようコーティング剤を塗ってもらい、滑り 防止に努めている
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされている か？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収 材の取付・階段手摺など）	○			電灯はLEDで飛散防止対策、窓や玄関ドアは飛散防 止フィルム、机などはコーナーガードを取り付けて いる。また避難用梯子も設置済みである
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設 定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員ミーティングの際に目標設定や振り返りを 行っている
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意見等を把握 し、業務改善につなげているか	○			実施済み
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	○			実施済み
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			コロナ禍のためリモートでの座学研修・運動研 修を毎月実施し、レポート提出とともに全職員 へ共有している
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支 援計画を作成しているか	○			計画変更スケジュールと日々の記録に基づき作 成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時に使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			その日利用の利用者の様子・特性などを鑑みて 立案を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫して いるか	○			本部指導の月毎の支援内容を基軸に利用者の ニーズも取り入れて行っている
	13	活動場面ごとに課題を決め、設定して支援して いるか	○			長期休みや土曜日などのイベントはコロナ感染防止 のため、室内で取り組めるイベントを考え、企画書 に書かれた課題や目標をもとに支援している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる個別支援計画を作成している か	○			モニタリングを入念に行い、作成している
	15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行 われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	○			運動リーダーやブログ、送迎担当など役割分担 が多岐にわたるため、日々の確認は必須であ り、必ず行っている
	16	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その 日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有 しているか	○			その日の利用者の様子や気づいたことなど職員 で共有している。不在だった職員にも後日共有 している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録は必ずその日のうちに行っており、 いつでも誰でも閲覧できるようになっている
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の 見直しの必要性を判断しているか	○			定期的な個別支援計画書の見直し時期に実施し ている
	19	安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や 支援方法等に工夫や配慮をしているか？	○			常勤職員は全員が運動指導検定を取得してお り、支援方法に基づき配慮をしている
	20	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工 夫しているか？	○			個別支援計画に沿って個々に合った支援をして いる。運動療育では、その日の利用者の特性な ど考慮して内容を立案している

関係機関や保護者との連携	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理責任者が中心となり、参画している
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時には必ず申し送りを行っている。また問題などがあった際には連絡を取り合い、連携をとっている
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			現在までは該当者ないが、契約時にはかかりつけ医院を聞いている
	24	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	○		事業所からの定期的な働きかけは少ないが、気になる様子の利用者の保護者への確認を行っている
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		利用前に保護者の同意を得て情報共有を行っている。必要に応じて情報を共有し、連携をとっている
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			現在までは該当者なし
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修に関しては参加の機会があり、何かあった際には市の相談室と共有し、助言を得ている
	28	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		定期的実施される放課後連絡会などに積極的に参加をしている
	29	連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	○		連絡帳は何かあった際のツールとして使用し、活動内容や様子に関してはブログや送迎時に説明をしている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時には保護者への丁寧な報告を心がけており、保護者との共通理解に努めている
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要があると思われる際には保護者と話し合い、提言などで支援を行っている。また、日々の確なアドバイスができるように職員で話し合いを行っている
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時の説明ツールとして用意があり、説明についてのチェックシートを活用している
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		助言に関して迷った際は一人で返答せず、他職員や事務局、行政担当者などとも相談し、支援を行っている
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		運営規定への記載の他に、契約時に口頭にて説明を行っている。また、苦情があった際は迅速かつ適切に対応できるよう心がけている
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		全ての利用者に対して毎月のレターの他、イベント前の予定表などを配布している。また利用の有無の確認も必ず行っている
	36	個人情報に十分注意しているか	○		利用者との同意書の取り交わしやHPに保護方針の記載他、職員間の同意書、また、ブログ作成時のWチェックを行っている
	37	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○		契約時に同意書の取り交わしと説明を行っている
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必ず記録として残すようにしている
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍のため地域との交流は難しいが、ご挨拶に伺い、事業所についてご理解をいただいている。また、利用者やその家族だけでなく、開かれた運営を行うために何かができるのかを考えていく

非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内に設置しており、いつでも閲覧できるようになっている。また、LINEメールや手紙にて保護者に周知している
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防本部への届け出を年2回、その他毎月様々な状況を想定し、必要な避難訓練を行っている
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員の虐待発見時は上司への報告だけでなく直に担当機関への報告とし、また、虐待防止研修を受講し、参加者は必ず共有を行っている
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○			機会がないが、身体拘束について研修を受講し、対応方法については共有済みである
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在、医師の指示書が必要な利用者はおらず、保護者からの指示により対応を行っている。また契約時にアレルギーの有無を聞き、該当のアレルギーのおやつは出していない
	45	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○			発生時の記録はその日のうちに作成を徹底し、月末に取り纏め、事業所間で共有を行っている